

ノヤマ通信

vol.36 (2025.文月)



森のようちえんヒュッテ

【6月の活動記録：5日山田薬師、12日山の基地、16日どんぐり王国、19日歴博、26日山の基地、30日桂川溪谷】

●活動を見つめるコラム

「毒がある生きもの」とどう付き合うか

野外で活動するときのリスクのひとつが、毒をもつ生きものとの接触です。有毒植物や毒キノコ、毒ヘビなどがその代表です。

「毒がある」と聞くと、多くの人はその対象に近づくかなくなります。まさにさわらぬ神に祟りなし。しかし、それが行き過ぎると「危険な生きものがあるから山には行かない」といった発想につながり、自然体験を自ら遠ざけてしまうことにもなりかねません。だからこそ私は「毒があるかどうか」だけではなく、「どう接すると危険なのか」を知ることが大切だと思っています 😊。

有毒植物や毒キノコの多くは、食べたら危険でも、触ったり、においをかいだりする程度では害がないものがほとんどです。動けない植物やキノコが毒を持つように進化したのは、捕食されるのを防ぐため。「食べなければ大丈夫」というケースが多いのです（※さわると危険なキノコもあります）。

一方、動き回る毒ヘビに対して大切なのは、まず近づかないこと。そのために「どんな場所にいるのか」「ヘビがいそうな場所に行くときは長靴を履く」といった基本的な知識や備えを身につけておくことが、何よりの予防になります。噛まれると危険な毒ヘビとして、このあたりにはマムシとヤマカガシがいます。農家の方の中には、「マムシは噛まれたらいけないから、見つけたら殺す」と言う人もいます。この判断には生活上の現実もあると思いますが、私はいつも難しさを感じます。「自分に害を与える可能性があるものは排除すべきだ」という考え方は、ともすると子どもたちに誤ったメッセージを与えかねないからです。少なくとも教育の場では、そうした伝え方は避けたいと考えています 😞。

人間は、よく知らないものに対して恐れを抱き、ときに攻撃的になります。まずは「知ること」から始めていきましょう。（ゆ）



▲6/5森のようちえんヒュッテ（山田薬師）



山の基地

【6月の活動記録：1日、15日、19日/日常管理、8日、22日/開放日】

●6/8の開放日は、巷で話題の「菌ちゃん農法」の畝づくりに挑戦。畝の上に、枯れ枝や落ち葉などを積み上げ、それらを菌（カビ）に分解してもらうことで、肥えた土をつくるというものです。9月か10月ぐらいになったら、冬野菜の苗を植えてみたいと思っています。

●6/22の開放日は、先延ばしになっていたオオムギとジャガイモの収穫、生きもののための池（湿地ビオトープ）づくりなど、いろいろやりたいことをやりました。

湿地ビオトープは穴を掘り、防水シートを張っただけのもの。水は雨水を利用します（子どもたちは川からせっせと運んでいましたが）。少しでも植物を入れますが、あとは昆虫やカエルなどが勝手にやって来てくれるのを待ちます。今後の変化にご注目ください 😊。

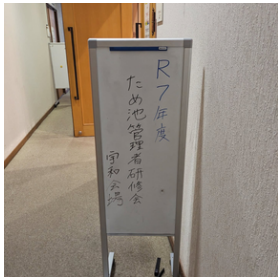


✿✿ その他の活動

●講師対応

○西予市ため池管理者講習（6/5、6）

西予市内で開催された農業用ため池の管理者向け研修会で、「ため池と生物多様性の保全」というテーマでお話しさせていただきました。ため池の堤体の草刈りが、明るい草地環境の維持という観点でも大切であることや、ため池などに生き物を持ち込むことが生態系に悪影響を及ぼすことなどをお伝えしました😊。



○SDGS研修（6/14）

西予市内の社会福祉法人から「法人としてSDGsに取り組んでいきたい」という相談を受けて、どんな課題に力を入れていくか、どんなことから始められそうかを一緒に考えるワークショップを行いました。

お仕事の中で、子ども、高齢者、障がいのある方やそのご家族など、さまざまな人に支援を届けているみなさん。働いている職員の方も多く、地域への影響力も大きいと感じます。だからこそ、SDGsが身近なものになっていくことで、地域に新しい変化が生まれていくんじゃないかなと思います🙌。

SDGsを自分ごととして捉えるための問いかけや具体例が、ちょっとしたヒントになっていたらうれしいです。これからの歩みに、期待しています。



●だいちのめ | トークイベントを実施（6/17）

地方を旅する編集者📝の藤本智士さんと豆腐屋「豆道楽」・本屋として働く渡邊彩子さんをお呼びし、トークイベント「自分のことばを届ける-日々を記録し、伝えていくことの価値-」を開催しました。当日は市内・市外・県外からいろんな立場の方たちが参加してくれました。

ノヤマカンパニーとして、郷土研究マガジンを編集したり、ヒュッテの活動やイベントを企画したりしていますが、自分たちがやっていることを振り返るよい機会になりました。会場として使わせていただいた重伝建地区にある、池田屋さんの蔵の雰囲気もとっても良かったです😊。



●みみずの会の開催（6/18、25）

森や山についていろいろな角度から学ぶ「みみず（美水）の会」を、森林内荒廃地復旧・体験プロジェクト、自然道とともに開催しました。

18日は「命を育む森林」、25日は「風力発電について考える」がテーマでした。どのような状態の森林が生き物が豊かなのか、また、二酸化炭素をよく吸収してくれるのか、風力発電にはどんなメリット・デメリットがあるのかー講師の先生のお話に、参加者のみなさんは熱心に耳を傾けていました。

特に、イノシシ🐗による農業被害は多くの方が困っている問題のようで、各回で関連する質問がよく出ていました。どう山とつきあっていくかは、これからも考え続けていくべき大切な課題です。



いきもの情報

活動の中で出会った生きものたちを紹介します。

コヤマトンボ

眼が緑色、体は緑色に黄色のしま模様というきれいなトンボ。オニヤンマをひとまわり小さくしたような感じ。川の上の一定の範囲を行ったり来たりパトロールする雄の姿が見られました。（6/30桂川溪谷）



よもやま話

●先日、毎年恒例のキス釣りへ行ってきました🎣。伊方町にある塩成海岸は、泳げるし、岸から釣りもできる場所。加えてシーグラスや貝殻拾いもできるので、子どもたちも楽しんでいました。肝心のキスは....3匹しか釣れませんでした。天ぷらにして食べたら格別でした。キス釣りや磯遊びできる場所をもっと開拓していきたいです。（ち）



<発行>

一般社団法人

ノヤマカンパニー



愛媛県西予市宇和町稻生237-1

noyama.company@gmail.com